



2026年7月16日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

15,344万kW

14時、153,439 MW (10
エリア同時刻合計)

≡ 風力ピーク

221万kW

0時30分、2,213 MW

↔ 最大受電エリア

東京

95.4 GWh

☀ 太陽光ピーク

4,676万kW

12時、46,759 MW (自
家消費分除く)

◇ 再エネ最大需要
比

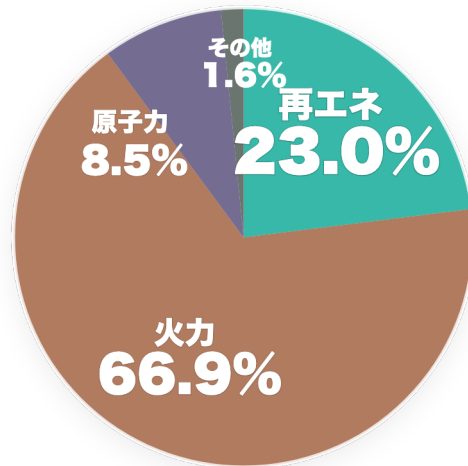
40.1%

12時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア

東北

60.4 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 44.9%

43.8 GWh

出力抑制量

0.8 GWh

最大: 東北 0.8 GWh

揚水・蓄電の充電

57.0 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:30に5,214万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで44.9%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	23.0%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	691 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	3,001 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	40.1%	12時
出力抑制量	0.8 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	57.0 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	44.9%	43.8	0.0	送電 12.1
東北	34.8%	107	0.8	送電 60.4
東京	14.9%	134	0.0	受電 95.4
中部	27.7%	116	0.0	受電 46.2
北陸	33.0%	29.1	0.0	送電 0.7
関西	16.5%	76.8	0.0	受電 39.2
中国	28.7%	59.1	0.0	送電 5.3
四国	26.1%	36.2	0.0	送電 47.3
九州	24.7%	84.7	0.0	送電 35.1
沖縄	11.5%	3.6	0.0	—



2026年7月16日の供給実績

北海道エリア

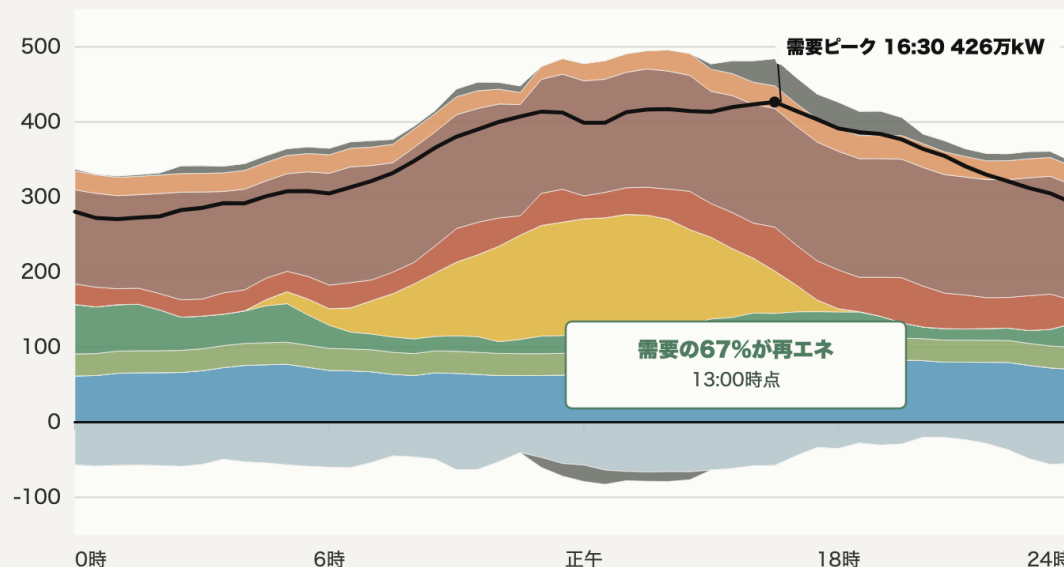
再エネ

43.8GWh

(発電電力量ベース44.9%)

北海道エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）

万kW



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

97.5GWh

需要ピーク

16:30、426万kW

連系線・その他

12.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク159万kW、風力ピーク66万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.3%だった。



2026年7月16日の供給実績

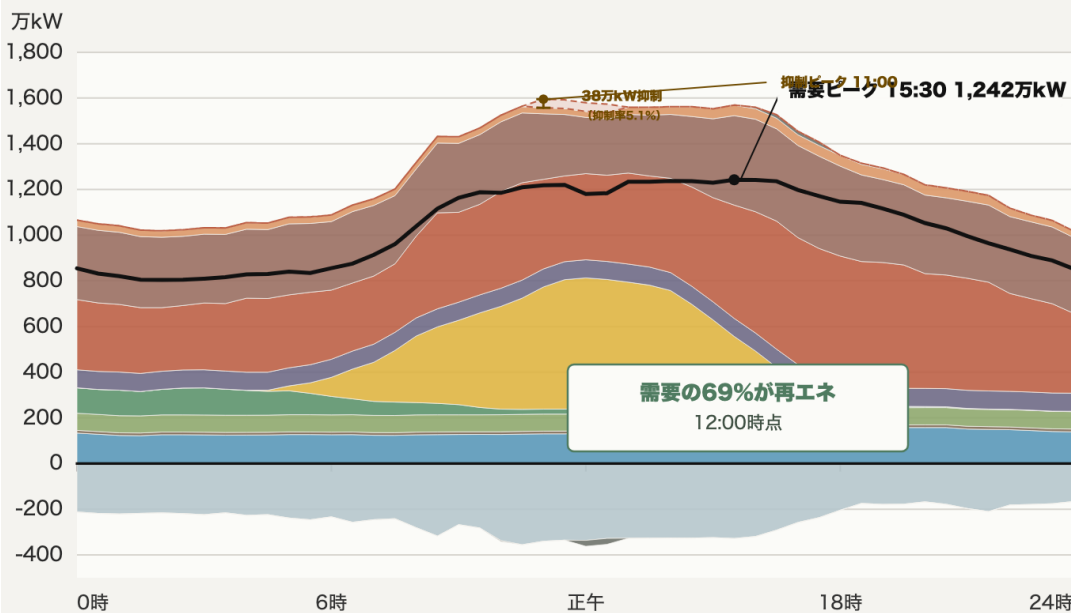
東北エリア

再エネ

107.3GWh

(発電電力量ベース34.8%)

東北エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

308.4GWh

需要ピーク

15:30、1,242万kW

連系線・その他

60.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.8GWh

概況

東北は、太陽光ピーク573万kW、風力ピーク119万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.9%だった。



2026年7月16日の供給実績

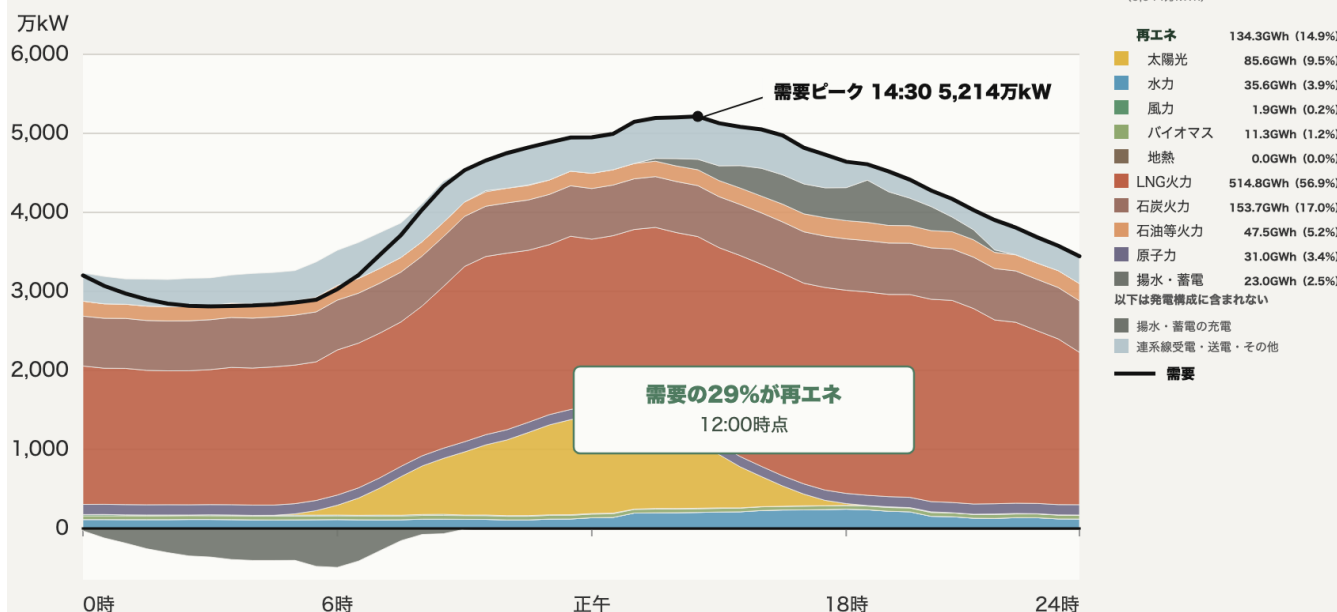
東京エリア

再エネ

134.3GWh

(発電電力量ベース14.9%)

東京エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

904.4GWh

需要ピーク

14:30、5,214万kW

連系線・その他

95.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

25.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,234万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.7%だった。



2026年7月16日の供給実績

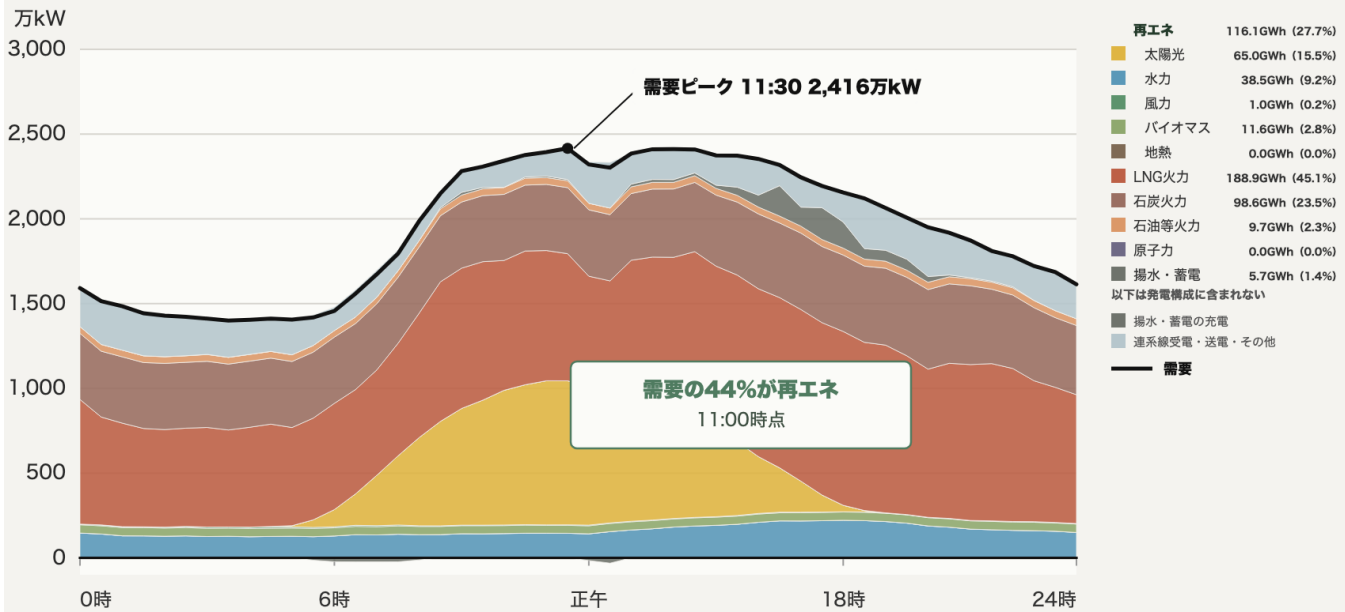
中部エリア

再エネ

116.1GWh

(発電電力量ベース27.7%)

中部エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

419.0GWh

需要ピーク

11:30、2,416万kW

連系線・その他

46.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

0.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク850万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.9%だった。



2026年7月16日の供給実績

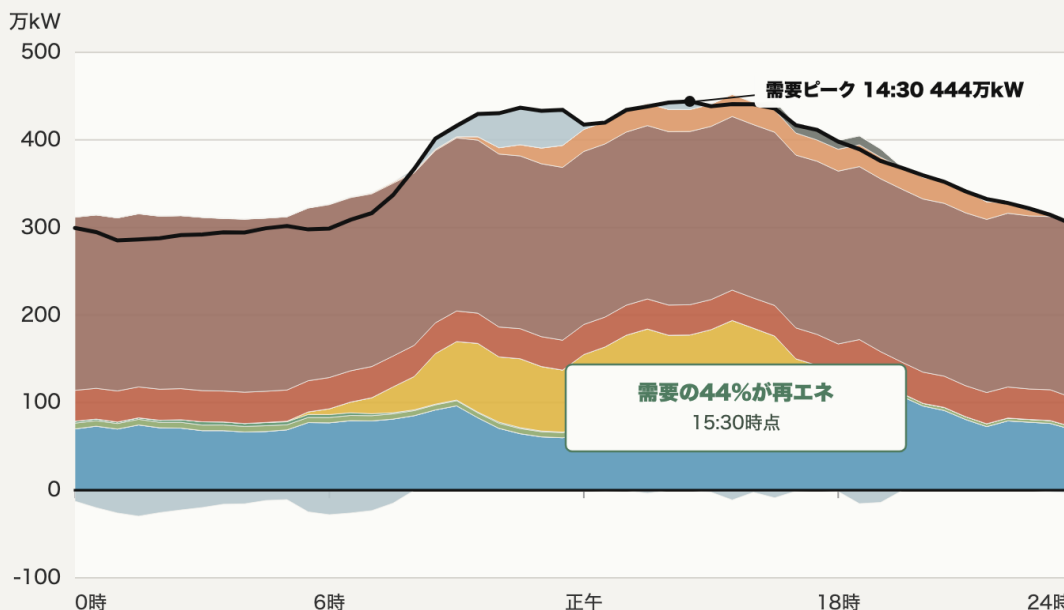
北陸エリア

再エネ

29.1GWh

(発電電力量ベース33.0%)

北陸エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 88.2GWh
(882万kWh)

再エネ	29.1GWh (33.0%)
太陽光	7.0GWh (8.0%)
水力	20.5GWh (23.3%)
風力	0.3GWh (0.3%)
バイオマス	1.3GWh (1.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.4GWh (9.5%)
石炭火力	47.4GWh (53.8%)
石油等火力	3.0GWh (3.4%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.3GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

88.2GWh

需要ピーク

14:30、444万kW

連系線・その他

2.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク94万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.0%だった。



2026年7月16日の供給実績

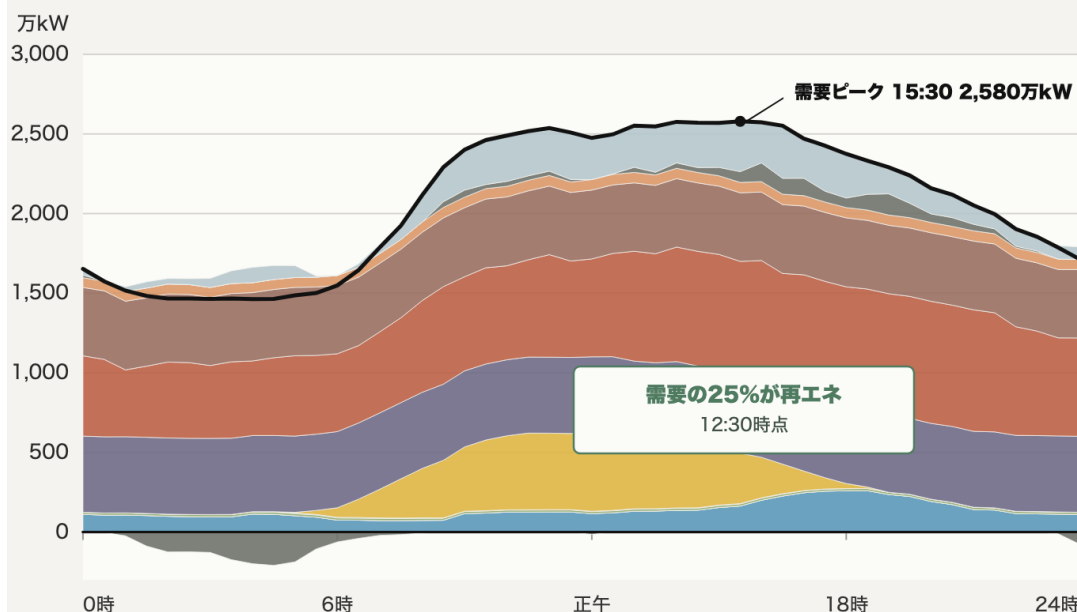
関西エリア

再エネ

76.8GWh

(発電電力量ベース16.5%)

関西エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 466GWh
(4,660万kWh)

再エネ	76.8GWh (16.5%)
太陽光	40.7GWh (8.7%)
水力	32.6GWh (7.0%)
風力	0.4GWh (0.1%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	148.7GWh (31.9%)
石炭火力	103.3GWh (22.2%)
石油等火力	15.4GWh (3.3%)
原子力	114.6GWh (24.6%)
揚水・蓄電	7.2GWh (1.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

466.0GWh

需要ピーク

15:30、2,580万kW

連系線・その他

39.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク492万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.2%だった。



2026年7月16日の供給実績

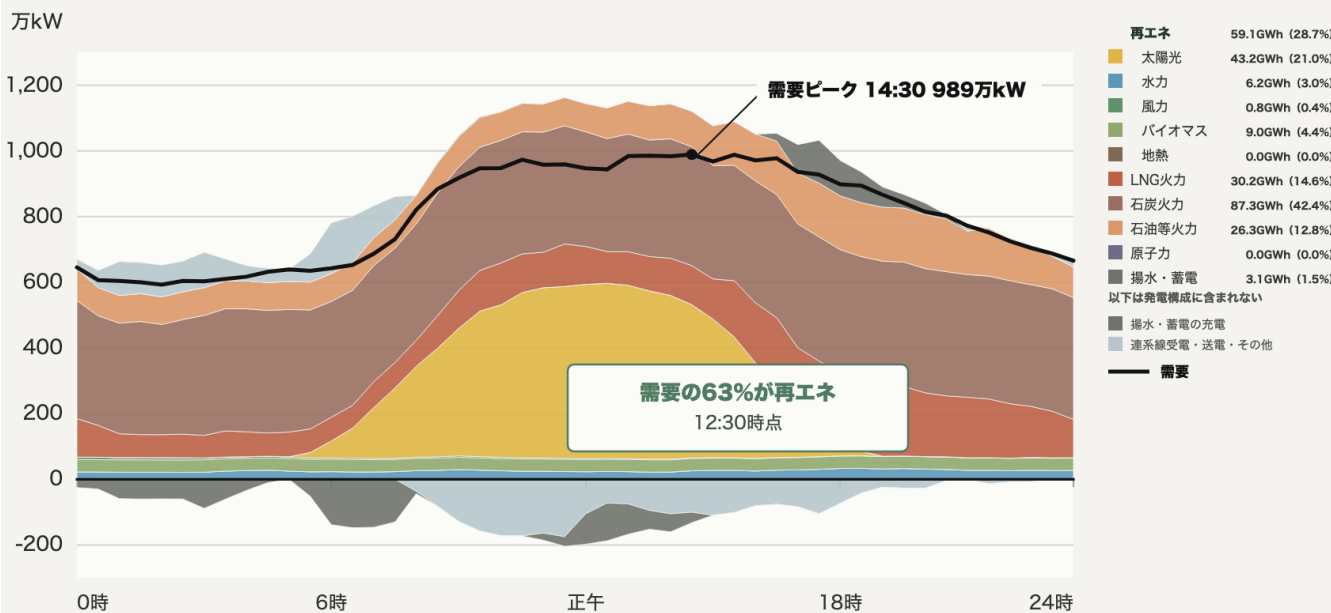
中国エリア

再エネ

59.1GWh

(発電電力量ベース28.7%)

中国エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

206.0GWh

需要ピーク

14:30、989万kW

連系線・その他

12.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

8.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク533万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.3%だった。



2026年7月16日の供給実績

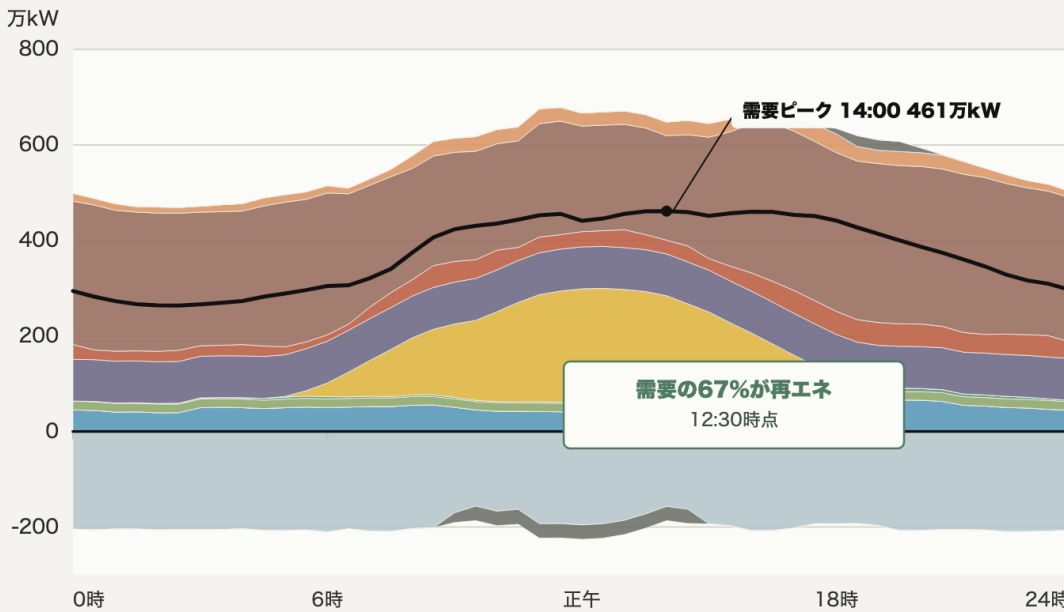
四国エリア

再エネ

36.2GWh

(発電電力量ベース26.1%)

四国エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 138GWh
(1,384万kWh)

再エネ	36.2GWh (26.1%)
太陽光	18.6GWh (13.4%)
水力	12.2GWh (8.9%)
風力	1.0GWh (0.7%)
バイオマス	4.3GWh (3.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.0GWh (5.8%)
石炭火力	67.3GWh (48.6%)
石油等火力	5.4GWh (3.9%)
原子力	21.0GWh (15.2%)
揚水・蓄電	0.5GWh (0.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

138.4GWh

需要ピーク

14:00、461万kW

連系線・その他

47.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク238万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.8%だった。



2026年7月16日の供給実績

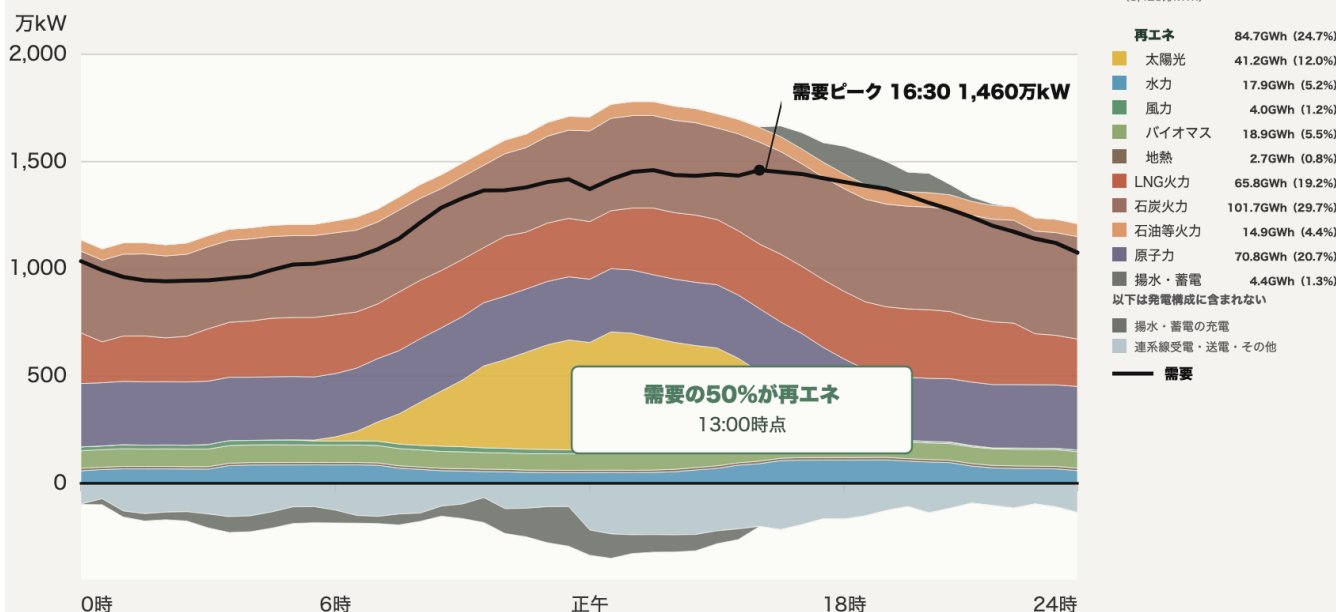
九州エリア

再エネ

84.7GWh

(発電電力量ベース24.7%)

九州エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

342.3GWh

需要ピーク

16:30、1,460万kW

連系線・その他

35.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

11.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク547万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は49.8%だった。



2026年7月16日の供給実績

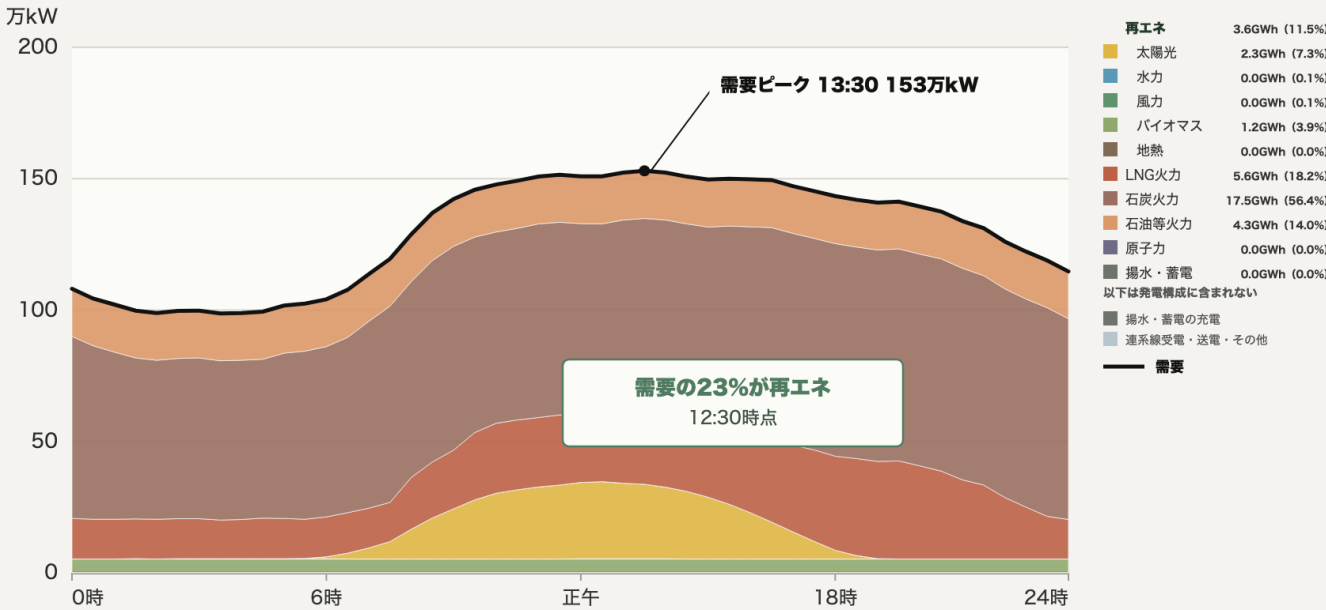
沖縄エリア

再エネ

3.5GWh

(発電電力量ベース11.5%)

沖縄エリア 2026年7月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

31.0GWh

需要ピーク

13:30、153万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.0%だった。